



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当

TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2023/01/18
SDS整理番号 22027250

製品等のコード : 2202-7250、2202-7280

製品等の名称 : 白色ワセリン

推奨用途 : 試薬

参考 : その他の用途 (当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。) 軟膏基剤、化粧品原料、医薬品原料 など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

Cx — Hy

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
可燃性固体 : 区分に該当しない
自然発火性固体 : 区分に該当しない

健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
皮膚刺激性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
皮膚感作性 : 区分に該当しない
発がん性 : 区分に該当しない

シンボル、絵表示 : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】
保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

該当なし

【保管】

日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物 (炭化水素類の混合物で脱色、精製したもの)

化学名、製品名	:	白色ワセリン (別名) ホワイトワセリン、ペトロラタム、ペテロラタム (英名) Vaseline, White, White petrolatum
成分及び含有量	:	白色ワセリン (炭化水素類の混合物)、 約100%
化学式及び構造式	:	不定 (参考: 一般式として、 C_xH_y 、 $x = 約15 \sim 20$ 程度) 構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	:	不定
官報公示整理番号	化審法	(9)-1692
	安衛法	公表化学物質 (化審法番号を準用)
CAS No.	:	8009-03-8
危険有害成分	:	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	:	呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	:	気が悪い時は、医師の手当を受ける。 皮膚に付着した物をウエス等で拭い取り、皮膚を多量の水と石鹼で洗う。 加熱溶解したものが皮膚に付着した時は、直ちに患部を冷水などで冷やし、医師の診察、手当を受ける。 皮膚刺激などが生じた時は、医師の手当を受けること。
目に入った場合	:	衣類に付着した時は、ウエス等で拭い取り、再使用する前に洗濯する。 水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	:	眼刺激が持続する時は、医師の診察、手当を受ける。 口をすすぎ、うがいをする。 コップ数杯のお湯を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 気が悪い時は、医師の診察、手当を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状: 情報なし		

5. 火災時の措置

適切な消火剤	:	この物質は可燃性である。 油火災と同様な消火剤、消火方法をとる。 散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤	:	棒状注水 (水に不溶で比重が小さいので本品が水に浮き、そのために着火した本品が飛散して火災を拡散する恐れがある。)
特有の危険有害性	:	火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	:	風上から消火活動をする。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 容器内に水を入れてはいけない。 環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	:	漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。 ミスト、蒸気、粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
環境に対する注意事項	:	密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 油又は有害液体物質による海洋の汚染の防止のため、海上で薬剤を使用する場合は、国土交通省令・環境省令の規定に適合すること。 環境中に放出してはならない。
回収、中和	:	こぼれた物質をウエス、土砂、乾燥砂などで吸着させ密閉式容器に回収し、安全な場所に移す。後で、適正に廃棄処理する。 後処理として、漏洩場所はすべるので、洗剤で洗った後、大量に水で洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床に漏洩した場合、滑りやすくなるので、こまめにふき取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	:	本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
--------------	---	-----------------------

局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	: 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こすことがある。 目や口に入ると刺激を受けることがある。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 加熱溶解した製品を取り扱う場合は、耐熱保護具（手袋、眼鏡、長袖作業衣、マスクなど）を着用する。
接触回避	: 湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対策	: 保管場所は、製品が汚染されないよう清潔にする。
保管条件	: 日光や高温多湿を避けて保管する。 容器を密閉して冷暗所に保管する。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質	: 強酸化剤
容器包装材料	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指標）:	設定されていない。
日本産衛学会	設定されていない。
ACGIH	設定されていない。 ただし、鉱油ミストとして、 TWA 5.0mg/m ³ 、STEL 10.0mg/m ³
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具（防じんマスクなど）を着用する。 加熱溶解によりミスト、蒸気が発生する場合は、ミストフィルター付きの保護マスクを着用する。
手の保護具	: 保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
眼の保護具	: 眼、顔面用の保護具（保護眼鏡など）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。 必要に応じて顔面用の保護具、保護長靴を着用する。
衛生対策	: 汚染された作業衣は作業場から出さない。 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	: 半固体状。軟膏よう物質。
色	: 白色～微黄色
臭い	: ほぼ無臭
pH	: 弱酸性～中性
融点	: 約38～60
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 204 以上
可燃性	: 可燃性
蒸気圧	: 0.5Pa以下 (0.00mmHg at 20)
相対ガス密度 (空気 = 1)	: データなし
密度又は相対密度	: 約0.85 g/cm ³ (20)
比重	: データなし
溶解度	: 水にほとんど溶けない。 エタノールにわずかに溶ける。 ジエチルエーテル、ヘキサン、クロロホルム、四塩化炭素の溶ける。
オクタノール/水分配係数	: log Pow > 6
発火点	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし
GHS分類	
可燃性固体	: 本品は可燃性であるが、国連危険物輸送勧告では危険物に分類されていない（国連番号に該当なし）ことから、区分に該当しないとした。
自然発火性固体	: 本品の引火点は204 以上で発火点はそれ以上の温度であるため、常温の空気と接触しても自然発火しないことから、区分に該当しない

とした。

10. 安定性及び反応性

- 安定性（反応性・化学的安定性）： 通常の取扱条件において安定である。
- 危険有害反応可能性： 強酸化剤と混触すると反応することがある。
- 避けるべき条件： 日光、高熱
- 混触危険物質： 強酸化剤（硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウム等）
- 危険有害な分解生成物： 燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素のガスを発生する。

11. 有害性情報

- 急性毒性： 経口 区分に該当しない。
飲み込んでも有害性は低いので、区分に該当しないとした。
経皮 区分に該当しない。
有害性は低いので、区分に該当しないとした。
- 吸入（ミスト、蒸気） 区分に該当しない。
通常の取扱条件においては有害性は低く、区分に該当しないとした。
ただし、高熱取扱いで、発生した蒸気、ミストを吸入すると、肺浮腫、肺炎を生じることがある。
肺内の油堆積物は繊維症や肺機能低下につながる。
- 皮膚刺激性/刺激性： 区分に該当しない。
皮膚刺激性は低いので、区分に該当しないとした。
まれに皮膚刺激が現れることがある。
加熱溶解したものが皮膚などに付着すると、火傷を起こす危険性がある。
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性： 区分に該当しない。
眼刺激は低いので、区分に該当しないとした。
まれに眼刺激が現れることがある。
- 呼吸器感受性： 分類できない。
- 皮膚感受性： 区分に該当しない。
皮膚感受性はほとんどないので、区分に該当しないとした。
- 生殖細胞変異原性発がん性： 分類できない。
- 生殖毒性： 分類できない。
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 分類できない。
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 分類できない。
多量のミスト、蒸気、スプレーしたものを反復ばく露すると、呼吸器系の炎症を引き起こすことがある。
- 誤えん有害性： 分類できない。

12. 環境影響情報

- 生態毒性
 - 水生環境有害性 短期(急性)： 分類できない。
 - 水生環境有害性 長期(慢性)： 分類できない。
油のため、大量に環境に放出されると、分解性は悪く、環境への有害性が疑われる。
- 残留性・分解性： データなし
- 生物蓄積性： データなし
- 土壤中の移動性： データなし
- オゾン層への有害性： 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
（参考）燃焼法
紙、ケイソウ土、木粉等に混ぜて、少量づつ、アフタバーナー及びスクラパー付き焼却炉の火室で焼却する。

汚染容器及び包装 : 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）
 陸上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 海上規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 航空規制 : 特段の規制なし（非危険物）
 国連番号 : 非該当
 国連分類 : 非該当
 品名 : 非該当
 海洋汚染物質 : 非該当
 MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類 : 非該当
 特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当。
 ただし、R8年4月1日以降、次のように該当。
 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 「ペトロラタム（ペテロラタム）、対象重量%は 1」
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 「ペトロラタム（ペテロラタム）、対象重量%は 1」
 （別表第9）
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 非該当（但し、指定可燃物、可燃性固体類に該当する。）
 化学物質排出管理促進法（PRTR法） : 非該当〔2023年（R5年）4月1日施行にも非該当〕
 船舶安全法 : 非該当
 航空法 : 非該当
 水質汚濁防止法 : 生活環境項目（施行令第三条第一項）
 「生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量」
 【排水基準】160mg/L 以下（日間平均 120mg/L 以下）
 「ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）」
 【排水基準】5mg/L 以下
 （注）排水基準に別途、条例等による上乘せ基準がある場合はそれに従うこと。
 輸出貿易管理令 : キャッチオール規制（別表第1の16項）
 HSコード：2712.10
 第27類 鉱物性ろう
 ・輸出統計番号（2023年1月版）：2712.10-000
 「ペトロラタム並びにパラフィンろう、マイクロクリスタリン石油ワックス、スラックワックス、オゾケライト、モンタンろう、泥炭ろうその他の鉱物性ろう及びこれらに類する物品で合成その他の方法により得たもの（着色してあるかないかを問わない。）
 - ペトロラタム」
 ・輸入統計番号（2023年1月1日版）：2712.10-000
 「ペトロラタム並びにパラフィンろう、マイクロクリスタリン石油ワックス、スラックワックス、オゾケライト、モンタンろう、泥炭ろうその他の鉱物性ろう及びこれらに類する物品で合成その他の方法により得たもの（着色してあるかないかを問わない。）
 - ペトロラタム」

16. その他の情報

（注）本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献 :
 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
 化学大辞典 共同出版
 安衛法化学物質 化学工業日報社

産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。